

平成 30 年 9 月 21 日 (金)

保護者様

高崎市立鼻高小学校
校長 北森 章久

平成 30 年度学校教育活動評価アンケート①**保護者**結果

日頃より本校教育推進のためにご協力をいただき感謝申し上げます。

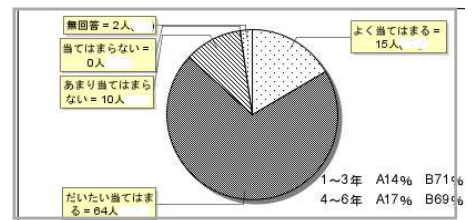
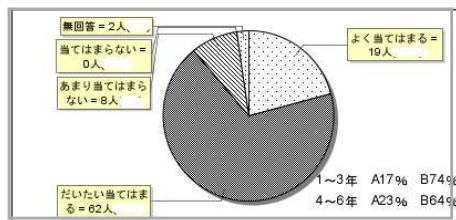
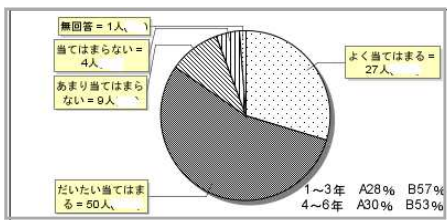
さて、鼻高小学校教育活動評価①のアンケート調査では、大変お世話になりました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。グラフは、保護者全体のアンケート結果です。評価につきましては、グラフの「そうです」をA、「だいたいそうです」をBとそれぞれ算出し、A+Bで評価項目がどの程度達成できたかのめやすにさせていただけたらと思います。なお、1～3年の保護者様と4～6年保護者様のA、Bの数値(%)を円グラフの近くに表示しました。

グラフは保護者全体のもの

1. 授業参観、学校行事、オープンスクール、PTA行事などに参加したい

2. 学校は、保護者の話をよく聞いてくれると思う

3. お子さんは、授業の内容がわかると思う



達成率は全体で83%と、1～3年と4～6年でほぼ同じ結果であった。学校行事の見直しや授業改善を行い、魅力ある学校づくりに努める。

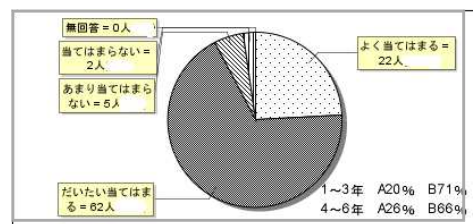
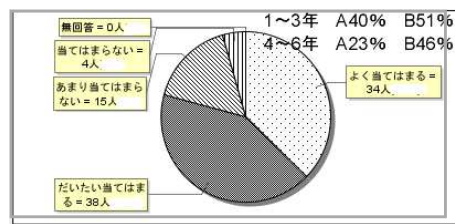
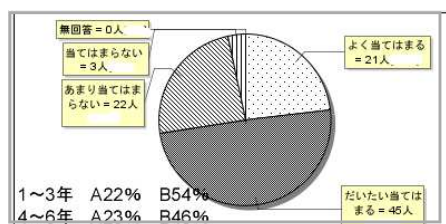
達成率は全体で88%と高いが、A評価の割合が低い。保護者の皆さまの声にしっかり耳を傾け、保護者と連携して学校教育を進めていく。

86%の達成率ではあるが、A評価の割合が低い。分かる授業の工夫に取り組む。

4. お子さんは、「学年×10分+10分」程度の家庭での学習をしている

5. お子さんは、『月4冊以上(1年～3年)、月3冊以上(4年～6年)』の読書をしていると思う

6. 学校は人権週間やファミリー活動を通して、いじめ防止に取り組んでいる

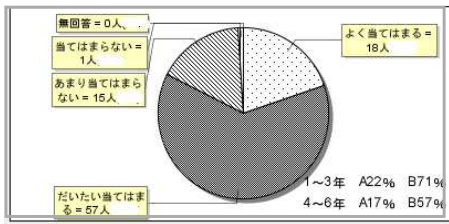


達成率が低く、特に4～6年では69%の達成率である。家庭学習が十分な児童とそうでない児童の差が大きい。中学校の学習につながるよう、家庭と連携して家庭学習の習慣化に努める。

達成率で1～3年は91%、4～6年で70%と差が大きい。読書は心を育み、様々な知識や読解力などが身に付くので読書の楽しさを伝えていく。

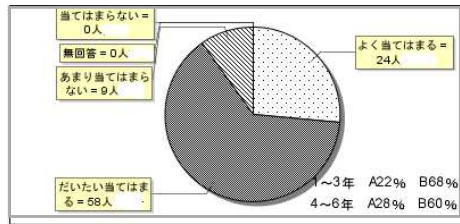
達成率は高い。自他の良いところを互いに認め合い、伸ばしながら100%の達成率をめざす。

7. お子さんは、進んで挨拶をしていたと思う



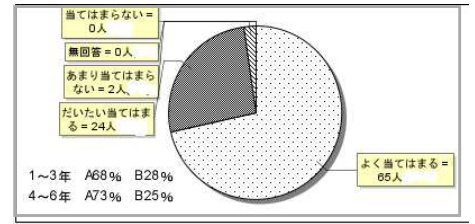
1~3年の達成率が93%に対して4~6年は74%と差が大きい。声に出すことが恥ずかしいと感じていることが要因と思われるので、教師が率先して挨拶を行う習慣づけをしていく。

8. お子さんは、学校のルールや約束を守って生活していたと思う



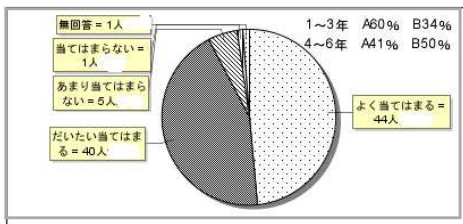
全体で89%の達成率である。集団のルールや約束を守ることが周囲とのトラブルを防ぎ、楽しい学校生活を送れることを家庭と連携して指導していく。

9. お子さんは、毎日朝食をとってから登校できたと思う



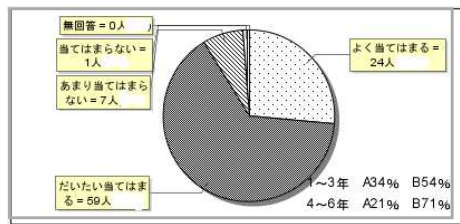
達成率もA評価も高い。

10. お子さんは、毎日8時間から10時間の睡眠がとれていた



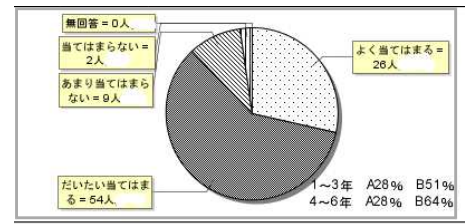
全体で91%と達成率が高い。

11. お子さんは、規則正しい生活ができた



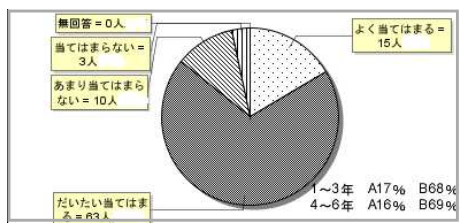
全体で90%と達成率が高いものの、10%は達成できていない。児童が学習に集中でき、健康に過ごすための規則正しい生活習慣を身に付けるために今後も家庭と連携しながら進めていく。

12. 学校は、家庭や地域と連携して、通学路の点検・パトロールを行い、交通安全指導の充実に努めていると思う



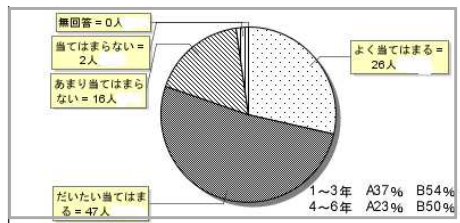
4~6年の達成率が92%に対して1~3年は79%と差が大きい。家庭や地域と連携して通学路点検・パトロールを行い、低学年の保護者の方々も安心できる交通安全指導を進める。

13. 学校の施設や設備は、安全であると思う



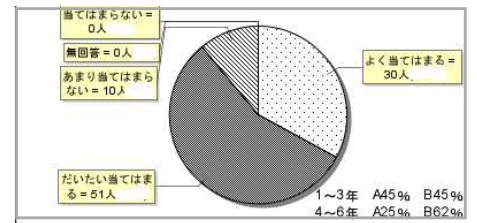
全体で85%の達成率である。毎月の安全点検を確実に実施し、危険箇所があればすぐに修理等の対応をしている。また、管理職を中心に、毎日敷地内の安全確認をしている。安全面でお気付きの点があった場合はお知らせいただくよう発信していく。

14. 親子で、子どもの将来の夢について話した



1~3年の達成率が91%に対して4~6年は73%と差が大きい。学年が進むにつれて自分の生き方や進路選択について身近なこととなるので、学校では発達段階にあったキャリア教育を行っている。それをきっかけに親子で将来の夢について話し合えるよう工夫していく。

15. 家庭で、お子さんにお手伝いをさせるようにした



全体で88%の達成率である。家族の一員として「自分が役に立っている」と感じられるよう、家庭と連携してお手伝いの実践を進める。